



愛することの喜びと

信ずることの静かさと

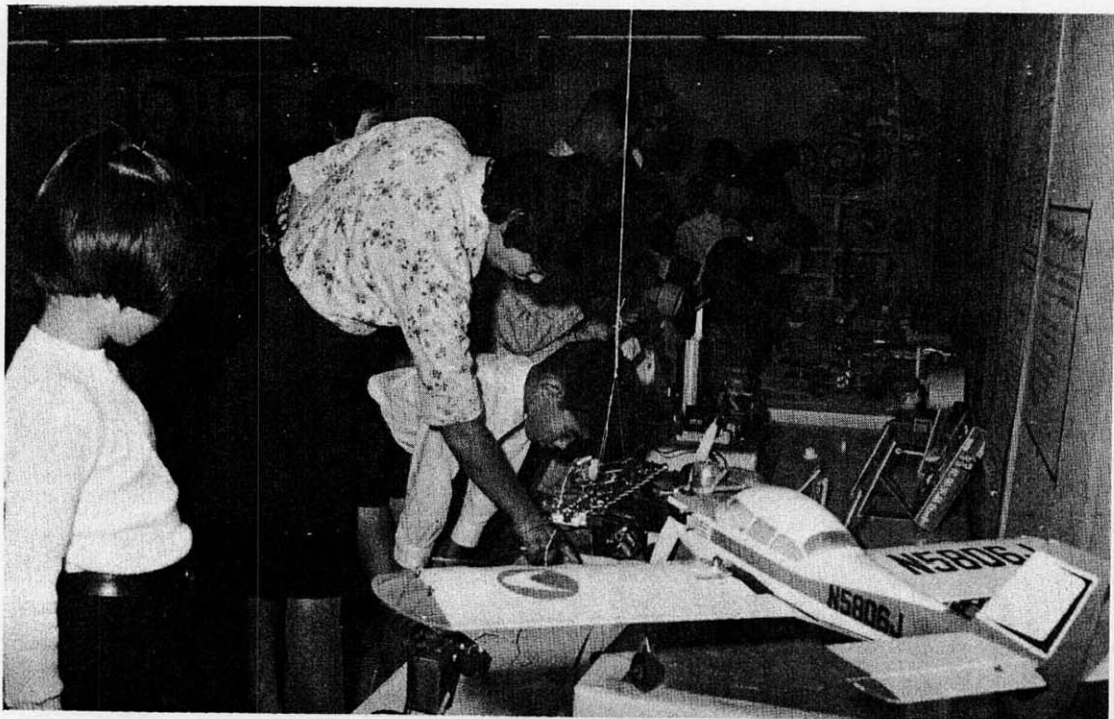
生きて働く楽しさを

新制作座

真山美保

(作家・演出家)

昭和49年11月1日  
編集・発行  
岡崎市教育委員会



(理科作品展・レオ 10月3日～8日)

小学校二年生の時、家の隣に、大きな土蔵ができた。ぬりたての壁は下の方が黒く、私には黒板のように見えた。たぬりに引っかけてみると、下地が白く出る。こいつはおもしろいと、お寺の欄間の龍を思い出し壁一ぱいに夢中でかき上げた。われながらよいできばえと思つた。しばらくたつて、さあ大きすぎ。だが、あんな



## 絵筆をとって八十年

岡田 栄 次

教 育 随 想

山本鉄太郎さんたちと巽閣で絵の展覧会をやつた。まだ二十歳そこそこであつたが、これが岡崎で最初の絵の展覧会と思ふ。近藤孝太郎さんがヨーロッパから帰り、杉山新樹さんが美術学校を卒業してきたので、いっしょに「われわれの会」をつくつた。竜田公園のところにあつた村松隆次さんのアトリエへよくかき

せ、大きな紙にのびのびかかせた。作品を県の展覧会へ出したら審査員も驚いていたようだ。今ではあたりまえだが、当時はまだ自由画教育は珍しかったのだ。私は、なぜ絵をかくか、と聞かれると、「楽しみにかくだけである。かきたいからかくだけである。」と答える。

墨でかいたり、油絵具でかいたりしてはうまくならんぞ、と言つてくれる人があるが、私はそうは思わない。たとえば花をかこうと思つ時、日本絵具の方がのりがいいと思えばそれを使うし、油絵具の方ががちりりしておもしろいと思えばそれを使う。絵として芸術品になるかならぬかは問題ではない。

昭和二十八年の春、当時市議だつたみどりや主人の松井さんと相談して、内藤学長、中西病院長、浅岡県高校長など趣味の画家が集まつて岡崎チャーチル会椿会をつくつた。画展を開いたり、写生旅行、見学の会、陶画、紙工芸の試作など楽しい会が今に続いている。会員は出入りはあつてもいつも十人前後、近頃は春の桜まつり秋の芸術祭に協賛して年二回の会員作品展を開いている。今年で三十回になるが出品作品が個性があつて似かよつたものがないのが面白い。時には会員作品の頒布で共同募金、交通安全資金に寄付したり、市内福祉施設に会員作品を寄贈したこともある。

私は今年八十歳。還歴、古稀、金婚につづいて本年回顧の個展を開く予定で制作をつづけでいる。(絵・岡田栄次)

いまはむかし



### よみもの

#### ●立川文庫

戦前に育つた者の多くは、立川文庫の洗礼を受けている。

忍術使いの名人、猿飛佐助や霧隠才藏などは、子どもたちの空想と願望をいやが上にも刺激した。真田幸村、水戸黄門などにも人気が集まつた。

一冊二十銭の豆講談本も、買つてもらうことができず、どこから回つてくるのか、友だち同志、貸したり借りたりして読んだ。だれでも一時期は立川文庫のとりこになつてしまった。

岡崎図書館は、最初、随念寺にあつた。毎日のように通ひ、たたみの部屋で読みふけた。夜も閲覧できるようにになると「閉館です」という係員の声が聞こえるまでねばつた。そして、月の伊賀川べりを本を抱えて帰つた。

#### ●評判の「猫」

漱石の「猫」は、そのころから評判で、いつ図書館に行つてもなかつた。閲覧申込カードに毎回書くこと十五回でやつと



この曲は別名「寅童子の歌」として親しまれており、郷土の地理学者志賀重昂の詩に作曲された歌である。

作詩者志賀重昂は文久三年十一月十五日岡崎市康生町に岡崎藩士志賀重職の長男として生まれた。重昂はシゲタカと読むが一般にはジウコウで通っている。氏は明治十八年に南洋諸島巡航につき以後三回の世界周遊を含め数多くの海外

# 三河武士の歌

旅行をしている。また、世界旅行の際収集した材で建てられた南北亭は、当時代々木の住宅の一隅にあつたが、今は郷里岡崎へ移され東公園に保存されている。

一方氏は文筆家としても「南洋時事」をはじめ多くの著書があり詩にもすぐれたものが多く今もこうして歌に、詩吟にうたわれている。

## 三河武士

一、産声高く うちあげて

天下の百獸 みな震う

十万三河の 美少年

誰ぞそのかみの寅童子

二、唐の頭に とんぼ切り

天下の群豪 みなおそる

十万三河の美少年

誰ぞそのかみの平八郎

おお 三河武士

## 三河武士の歌

志賀重昂 作曲

うぶごえ たかく うちあげて  
てんかのひくじょう みなふる  
うまん みわりのびほうねん  
にぞそのかみのとらじうじ

## 三河男児の歌

志賀重昂 作

汝見ずや段戸の山は五千尺 雲巔天に参つて終古碧なり  
又見ずや矢矧の水は三十里 急湍石を噛んで矢よりも疾し  
憶ふ昔孤軍峻嶮に抛り 勤王を唱え妖駭を拂わんと欲す  
借問す當時の將たる者は誰ぞ 足助の次郎巨重範  
須臾にして賊兵の勢は雷の如く 千騎万騎山を撼して来る  
我が軍奮戦して弓劍砕け 七分は難に死に三分は潰ゆ  
潰ゆる者は辱を忍んで臙髒に匿れ 臥薪嘗胆仇を報いんと欲す  
機や到らず余烈在り 鬱々久しく待つ天定まる秋  
呼嗟上帝の眼は臙髒たらす 忽ち此の土に英雄を降す  
矢矧の水は清く段戸の山は秀でたり 鐘靈孕み出す東照公  
撥乱反正皇猷を賛け 舜雨堯風六十州  
何ぞ料らん治極まつて人心馳み 文恬武熙表裏に変わるを  
天下の大勢西南に趣き 三河の佳気恐らく長えに己まん  
挽回登に時無からんや 復興必ず期あり  
呼嗟段戸の山は誰が為に高く 矢矧の水は誰が為に号ぶ  
三河男児其れ行け 三河男児須く奮起すべし

念願を果たし、ページをめくるのもどかしく読みふけた。

ふるたきをしながら本を読むこともあつた。古い竹を燃そうとしたら、中から無数の蟻がはい出し右往左往、これを燃すに忍びず逃げるまで待つてやった。

後にこの体験を「わがはいは蟻である」と作文に書いたら、とてもほめられた。

### ●血湧き肉躍る

大正十一年、少年倶楽部創刊。「神州天馬俠」（吉川英治）、「ああ玉杯に花うけて」（佐藤紅緑）、「豹の眼」（高垣暁）、「敵中横断三百里」（山中峯太郎）、「怪人二十面相」（江戸川乱歩）など、功罪はともかく、子どもの心を揺さぶつたものだ。

ユーモアとペーソスを織り込んだ「のらくろ」。「冒険ダン吉」なども人気の的、これこそ健全なマンガであると、現在も複製版を教室に持ち込み、読ませている教師もいるが、あなたがち郷愁ばかりとも言えないだろう。

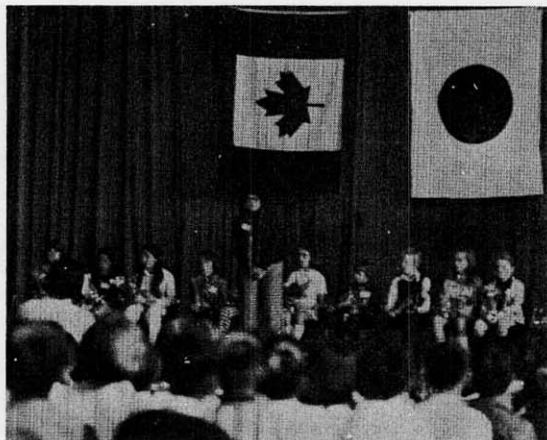
雨降りに先生から聞いた「ああ無情」がもとで読書の喜びを知り、「トロッコ」の良平とわが身の境遇をひき比べ涙をこらえた少年の日もなつかしい。

芥川龍之助・菊地寛、大仏次郎など一流作家が健筆をふるつたのも見落とせない。彼らもまた、次代を担う子どもたちに大きな期待をかけたのだ。

（河口信一郎・安藤幸夫・中山吉郎）  
（大山紘司先生のお話から）

# 友情と理解

カナダ・ウィニベグ児童との二週間



かねてより美合小学校と交流をすすめてきたカナダ、ウィニベグ市、グロスバナースクールの児童十二名が付添い三名とともに十月十七日同校に到着した。二週間、美合学区内の家庭に分宿。配属された六年生の各学級で日本の学校生活を体験した。同校はもちろん、全市をあげての歓迎や、各種の行事を通して、友情と相互理解をいっそう深めることができた。二十九日、数々の思い出を胸に岡崎を離れた。



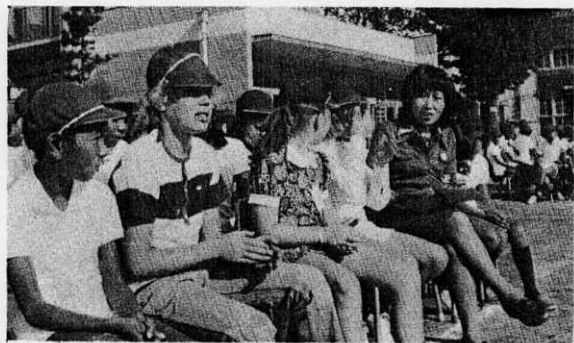
右上から  
 ・10月17日美合小に着く・学区歓迎パーティ  
 ・子ども会のど自慢風景・市内小学校交歓会  
 左上から  
 ・美合小歓迎会、あいさつするウィーバー先生  
 ・小学校交歓会フォークダンス



初めてする学校の清掃。カナダでは清掃夫がしてくれる。美合の友だちが見守る中で応接室はきれいになった。



げたをはいたまま、たみの上を歩いてしまった。着物も着せてもらった。ホームステイのママもパパもやさしかった。スキヤキはステキな食べ物だ。でも、ご飯は食べられない。ハシは、むこうで練習してきたから平気。学校から帰ると、近所の友だちが遊びに来た。



日本の遊びを教えてあげた。鬼ごっこ、ドッジボール、腕ずもう、指ずもうに将棋。わざと負けてやったらすごく喜んだ。チエスもやったよ。

- ・右上から
- ・図工の時間・応接室のそうじ・ドッジボール遊び
- ・給食
- ・左上から
- ・家庭の一とき・京都奈良修学旅行へ
- ・スポーツ大会

## 講演要旨



## 常民のまつりとその心

東京国立文化財研究所郷土芸能研究室長

## 三 隅 治 雄

今日は「常民のまつりとその心」というタイトルでお話しいたします。まず、「常民」という、民俗学でよく使われることばについて説明してします。

私、三隅治雄という人間がここにおります。ところが、私の中に、私自身と無意識に行動している私があることがあります。たとえば、お正月になると、私は「おめでとう」と言います。私個人としては歯が痛くて、めでたい気持ちなど全くないのに、人と会えばやはり「おめでとうございます」と言います。人もまた私に対してそう言います。個人の特質などとは別個に、何かお互いに共通した日本人同志の理解のもとで、こうしたことばを交すのです。日本人なら誰しもが持っているような、そういう常識のようなものを持って、それで行動している人間を「常民」と名づけているのです。

先ほど滝山寺の「田遊祭」を見せていただきました。これは全国で行なわれている「田遊び」というお祭りの、典型的な一つということが出来ます。この近くでは鳳来寺、その奥の設楽町の田峰などでもこれを見る事が出来ます。新しい年を迎えて今年に行なう農耕の次第を全部まねて演じてみせるというのがその骨子です。

なぜこういうことをするのでしょう。今年一年、どうか豊作であってほしいと思つた時、自分たちの最も望む状態をあらかじめことばや動作で演じてみせる。すると、必ずその通りの効果が生まれる。そういう考え、感じ方で行なう行事が田遊びなのです。

こういうものを「模倣呪術」とか、「類感の呪術」とか呼んでいます。折口信夫先生はこれを「かまけわぎ」という言い方をなさいます。「かまける」と

は「感染する」ということで、「おめでとう」と言うと、現実がそれに感染しておめでたいことが起こるといふわけです。そして、こうした昔ながらの習慣をたつぷり持っているのが「常民」だということなのです。

次に、日本のお祭りについて述べてみましょう。

日本では、お正月が重要なお祭りの季節になっていきます。次いで、はる祭り、なつ祭り、あき祭り、さらにふゆ祭りと、四つあるわけです。なんだ、春夏秋冬にあるのじゃないかというわけですが、そうではありません。「はる、なつ、あき、ふゆ」と「春夏秋冬」とは根本的に発生が違うからです。

奥三河に「花まつり」という

のが現在も行なわれています。民家の土間にかまどを築き、お湯を煮立てる。そして釜のまわりに集まった六十余州の神様にそのお湯をさしあげ、その後、まわりの人々に浴びせします。人は神様の魂の息吹きのかかったお湯をいただくことによって、一年間生活して古び、弱まった自分の魂が新しいものになると考えるのです。

このように、「ふゆ」ということばは「みたまのふゆ」ということばから出たものと、私は解釈しています。「みたま」とは神様の魂、「ふゆ」は分割してふやすという意味です。この時期に行なう祭りを「ふゆまつり」と呼んだものでしょう。同様に、ふゆ祭りを終え、人も大

地もはれやかになると「はる」収穫を終えてあきるほど食べる時を「あき」と呼んだものと思えます。

祇園祭に見られるように、なつ祭りが水や川を舞台にくりひろげられるのもおもしろい習俗です。この季節は日照りや水害疫病のおこりやすい季節です。それらの災いを引きおこす悪霊や怨念をなだめて追い払おうというのがなつ祭りです。そして追い払う場所が川です。川の水で洗い流すというわけで、今に「水に流す」ということばで伝えられています。

お祭りのようなものも、日本人の歴史の大きな営みであると考えていただきたいものです。

(九月二十日、常盤小中学校発表会)  
文責 大久保幾三

## かがみ

## 心の芸

鈴木郁代

月どこおかではるうが…月

「おい、何だ、その声は。もっと腹から出せ！その中学生いいか」

たちまちメロディーは中断。指導者のひとりひとりにくい入るようなまなざし…。その気迫にこたえ、じよじよに美しい響きが体育館中にひろがる。九月の南ブロック合同練習のひとこまである。

中学生の参加が少なかつただけにきょうの練習をどう受けとめたか…ところが、私の学級のひとりがあゆみ（本校の生活記録）にこう書いてきた。「きょうの長谷川先生の教え方には感動しました。思わず声がでて夢中で歌いました…」

かつて宮城道雄氏がアイザック・スターン氏と春の海をかなでられたおり、芸術の境地での会話を心の芸と言われたが、芸に至らざる者でも音楽の真髄はつかめるものと思う。

岡崎のハーモニーも心のハーモニーであることを願わずにはいられない。(南中)



# 菅生河原に集まる!!

23日に第一回子どもまつり開催

「太陽を、緑を、遊びを子どもたちに」との願いをこめた、第一回の「岡崎子どもまつり」が秋の行楽シーズンの最後を飾って十一月二十三日、菅生河原右岸一帯で行なわれる。現職教育特活部と生徒会連絡協議会が主催するものだが、当日はPTAや子ども会連絡協議会、それに愛教大児童文化部のみさんの応援などもあり、楽しい盛りだくさんの遊びが繰り広げられる。実施概要は次のとおり。

▽日時 11月23日(雨天順延) 前10時〜後3時▽参加 市内の子どもと親だれでも▽主なコーナー ①ステージ(ゲーム、歌、奇術、吹奏楽など) ②軽スポーツ(竹馬、長げた、フラフープ、トランポリン、ローラースケートなど) ③相撲 ④金魚すくい ⑤

【刊行あんない】 本宿小  
▽教育の記録 「子見を育てる社会科学学習」に取り組んだ全職員員の授業研究。  
▽南中春秋(第4号) 特集・道徳教育 南中  
全職員員で綴るバラエティに富んだユニークな季刊総合誌。

## ■学校栄養職員新任

これまで市の栄養士として学校給食を担当してこられた方々の身分が十一月一日付で教員と同じ県職になり「学校栄養職員」という名で、それぞれ次のように配当されることになった。  
(一) 内は旧任。

- 【連尺】(市教委) 高木節子
- 【梅園】(市教委) 杉浦増美
- 【岩津小兼北部センター】(北部センター) 羽根田札子
- 【大樹寺兼北部センター】(北部センター) 中山愛子
- 【美合兼東部センター】(東部センター) 天野裕美
- 【根石兼東部センター】(東部センター) 野口真知子
- ※北部・東部センターとあるはそれぞれ北部・東部学校給食センターの略。

## 昭和49年度秋季小中学校各種競技記録

### 第7回中学校新人総合体育大会

### 陸上競技個人記録(中学校)

10月20日〜11月3日

10月20日公園グラウンド

種目	優勝	第2位	第3位
野球	福岡	岩津	葵・城北
ソフトボール	城北	葵	南・甲山
ハンドボール	男 美川	城北	葵・六ツ美
	女 六ツ美	岩津	葵
テニス	男 矢作	福岡	葵・常磐
	女 矢作	甲山	六ツ美・東海
卓球	男 南	六ツ美	東海・葵
	女 六ツ美	矢作	河合・東海
バレーボール	男 矢作	甲山	岩津・竜海
	女 矢作	甲山	福岡・竜海
バスケットボール	男 美川	附属	城北・甲山
	女 南	美川	矢作・葵
体操	男 葵	竜海	東海
	女 南	矢作	葵
剣道	男 常磐	甲山	福岡・城北
	女 矢作	甲山	岩津・葵
柔道	美川	竜海	
陸上競技	男 岩津	矢作	葵
	女 甲山	城北	葵

種目	男子			女子		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
100M	日比徳治	岩津	12" 3	神尾加代子	岩津	13" 6
200M	木村孝治	美川	25" 1(新)	中根 貴美	常磐	28" 1
800M	天野弘一	矢作	2' 24" 6			
2000M	鈴木英典	矢作	6' 20" 2(新)			
80MH				金子 真生	南	13" 5
100MH	小幡雅人	岩津	15" 5			
400MR				城北 中	城北	56" 4
800MR	岩津 中	岩津	1' 43" 7(新)			
走 巾 跳	朝倉繁数	矢作	5 m 65(新)	飯田 絹子	城北	4 m 65
走 高 跳	大和計夫	東海	1 m 60	久保美登里	甲山	1 m 35
砲 丸 投	渡辺雄司	矢作	11 m 41	古川智恵子	甲山	9 m 27

### 個人記録(小学校)

種目	男子			女子		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
100M	柏木敬久	細川	12" 9	松林 恵美	梅園	14" 5
60MH	永井 護	福岡	9" 3	竹内 晶子	愛宕	9" 6(新)
1000M	赤堀正司	根石	3' 17" 3			
高学年 400MR	矢作東小	矢作東	56" 8	根石 小	根石	1' 00" 3
低学年 400MR	広 幡 小	広 幡	1' 01" 6	三 島 小	三 島	1' 04" 1
走 巾 跳	村井武史	広幡	4 m 60	深谷 紀子	三島	4 m 16
走 高 跳	中村貴之	広幡	1 m 37	青山 啓子	山中	1 m 33
ソフトボール投	野村尚弥	六ツ美	65 m 35	大山 知子	梅園	50 m 96

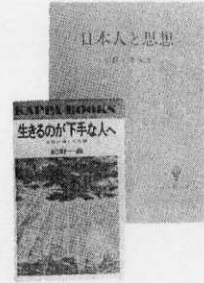
### 第13回小学校陸上競技大会11月3日公園グラウンド

種目	優勝	第2位	第3位
男子総合	広 幡	矢作東	細 川
女子総合	三島(3年連続)	梅 園	根 石

## 11月の行事

1	金	全日本中学校道徳教育全国大会（2日まで南中） 岡崎美術展（4日まで美術館）
2	土	
3	日	文化の日 造形おかざきっ子展（4日まで東公園）小学校陸上競技大会（公園グランド）中学校技術家庭科作品展（4日まで市民体育館）開市450周年記念講演会／新行紀一先生（梅園小）市民総合軟式庭球大会（県営コート）一万人卓球大会中学生の部（矢作中）
4	月	
5	火	新任教員研修会（市役所）県義務教育課学校訪問（城北中）
6	水	県生徒指導講座（本宿山の家） 県心身障害児地方協議会（豊橋雙）
7	木	指導主事学校訪問（東海中）
8	金	
9	土	三教研教育講演会／梅原猛先生（附小）愛知教研集会（10日まで知立小）開市450周年記念式典
10	日	
11	月	定例校長会（竜海中）
12	火	郷土読本改訂委員会（羽根小）三河部教頭研修会（勤労会館）
13	水	県教職員課学校訪問（奥殿小、恵田小） 社会教育審議会（市役所）
14	木	定例教育委員会 指導主事学校訪問（六南小）
15	金	愛宕小研究発表会
16	土	
17	日	講座教育文化大学／鈴木勝忠先生（岡信中央支店ホール） 歩く文化財めぐり（山中城址ほか）市民秋季卓球大会（市民体育館） 市民秋季庭球大会（公園コート） 市民マラソン大会（県営グランド）
18	月	
19	火	全国技術家庭科研究大会（竜海中）新任教員研修会（小学校）
20	水	
21	木	教育委員学校訪問（矢束小、甲山中）
22	金	愛知県音楽教育研究大会（梅園小）
23	土	小中学校音楽会「岡崎のハーモニー」（市民会館） 岡崎子どもまつり（菅生河原）
24	日	西三ハンドボール大会（北高）東公園オリエンテーリング大会（東公園）家庭婦人バレーボール大会（女子高）
25	月	
26	火	市内小学校修学旅行（29日まで）新任教員研修会（中学校） 文化庁移動芸術祭歌舞伎公演（市民会館）
27	水	
28	木	
29	金	一日消防署長（市役所）
30	土	第2回教育文化賞授賞式（岡信中央支店ホール） 岡崎市子ども大会（市民会館）

●カット 小林 睦子（甲山中）



この本を

- |             |       |         |       |        |
|-------------|-------|---------|-------|--------|
| ○生きるのが下手な人へ | 紀野一義  | 光文社     | 49・8  | ¥ 580  |
| ○人に志あり      | 大島 清  | 岩波書店    | 49・7  | ¥ 1300 |
| ○日本人の解体     | 京都新聞社 | 駈々堂     | 49・8  | ¥ 1300 |
| ○植物と人間      | 宮脇 昭  | NHK出版協会 | 45・3  | ¥ 450  |
| ○女心風景       | 水上 勉  | 毎日新聞社   | 49・8  | ¥ 850  |
| ○最後の将軍      | 司馬遼太郎 | 文芸春秋    | 42・3  | ¥ 750  |
| ○世界の中の日本人   | 会田雄次  | 河出書房新社  | 49・7  | ¥ 950  |
| ○日本人と思想     | 山縣三千雄 | 創文社     | 49・7  | ¥ 2500 |
| ○新風土記 1     | 朝日新聞社 | 朝日新聞社   | 49・9  | ¥ 740  |
| ○平常心        | 尾関宗園  | 徳間書店    | 49・10 | ¥ 580  |

寸言

▼研究発表会盛ん  
お互いに勝手を知りつくしているだけに、その欲びと苦しみ、一しお。龍は苦しみの果てに玉を吐くとか。

▼サッカーの試合中、突然ある選手がルールをまちがえて、ボールを抱えて走り出した。これが今日のラグビーの起りであるといわれている。まちがいより生まれる新たな飛躍。

▼ゆく秋の三河路の空は青く澄む。ふるさとへ向く心鬱勃として各地に。郷土の歴史と風土を探る。——願わくは、狭い「おらが国さ」意識に陥らぬことを。